

『病院・介護老人保健施設見学会 2017』

まだ MSW に馴染みの薄い 1・2 年生を中心に、福祉系の大学生の皆さんに MSW の仕事を知っていただくために、本協会主催としては初の学生向け施設見学会を県下 7 カ所で行いました。

◇実施期間 2017 年 9 月～10 月（全 10 日程）

◇会場：総合大雄会病院、名城病院、鶴飼リハビリテーション病院、安城更生病院、
知多厚生病院、知多リハビリテーション病院、星ヶ丘アメニティクラブ

◇参加学生数：延人数 35 名（実人数 30 名）

【参加者アンケート・コメント紹介】

- ◆MSW がどのような仕事やどのような環境で仕事をしているのか理解が深まった。病院によって様々な仕組みがあることを理解できてよかった。
- ◆病院スタッフの立場からしても退院後の生活支援や医療費といった患者が抱える経済的・社会的な問題に精通した MSW は病院内において重要な役割を担っているという点に大きな魅力を感じました。参加して本当に良かったと感じています。
- ◆MSW は病院、患者、家族、地域をつなぐパイプ役を担っていることが今回の見学で学ぶことが出来た。
- ◆普段見ることができない病院の裏側などの見学ができたのでおもしろかった。

【受入施設担当者アンケート・コメント紹介】

- ◆ご参加頂いた学生の方は皆さん積極的にご意見・質問をして頂いたため、我々としてもやりがいを感じながら、説明・見学を行うことができました。
- ◆MSW を目指す学生を対象としているので広く愛知県内の福祉系大学を対象とすることは良いと考えます。また、ゆとりがあれば、東海地区の大学もご検討いただくと良いと思います（愛知県への就職促進）。
- ◆他施設の実施状況も踏まえ、ある程度見学会内容の標準化を行い、良い実施内容となる様な検討があっても良いと思う。

【委員からのコメント】

昨年度途中に産声をあげた学生研修委員会の、記念すべき初企画です。「まずは MSW を知ってもらい、関心を持つ人の裾野をひろげよう」という意図で計画しました。どのくらいの学生が集まるのか不安でしたが、30 名の参加を得ることができ、終了後のアンケートでは全員が見学内容について「大変良かった」・「良かった」、MSW の仕事について「よく理解できた」・「理解できた」、との回答を寄せています。

当日欠席者が出るなどご迷惑をおかけしましたが、お受け入れ頂いた施設の方からも好評で、次年度への期待のメッセージも頂きました。ご多用中にも関わらず快くご協力下さった 7 施設の皆さまにあらためて感謝申し上げます。

手さぐり状態の初企画であったため、今年度は委員の所属大学の学生を委員会から依頼した施設に送る形をとりましたが、次年度は受入施設を募集し、参加者募集の範囲も広げられたらと考えています。運営上の課題は多々ありますが、「未来の MSW」の獲得・育成に向けて改善しながら継続的に実施していきたいと思っております。「次年度は見学を受け入れても良い」という病院・老健の方からの声掛けをお待ちしています。

（学生研修委員長 山口みほ）